KAKUDAI

鋼管用カップリング（UNI GRIP）

取扱施工説明書

施工前に必ずお読みください。

安全上のご注意

施工前・使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく使用してください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠警告　取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

⚠注意　取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または、物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

- ⚠ 気をつけていただきたい「注意」を表します。
- ❗ 必ず実行していただく「強制」を表します。
- ⃠ してはいけない「禁止」を表します。

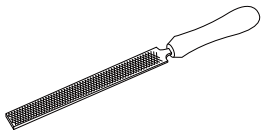
⚠警告

必ず実行	●施工をする際、必ず軍手などをご使用ください。手などにケガをする恐れがあります。 ●本品を取り外す際は、配管内に溜まった圧力を逃がしてからボルトを緩めてください。 ●使用圧力範囲、使用温度範囲内にてご使用ください。 ●埋設管に使用する場合は、防食テープなどで保護してください。
禁止	●カップリングの内径部をつかんでの持ち運び等はしないでください。グリップリングの歯は非常に鋭利ですので、手などにケガをする恐れがあります。 ●継手を分解しないでください。漏水・破損の恐れがあります。

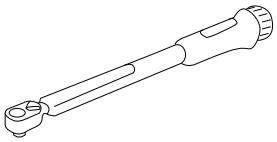
⚠注意

必ず実行	●凍結の恐れがある場所で使用される場合は、凍結防止措置を行ってください。 ●ボルトの締付には必ずトルクレンチをご使用頂き、規定のトルク値にて締付けてください。締付が不足による漏水や、締付けすぎによるボルトの破断の恐れがあります。 ●使用圧力範囲、使用温度範囲内にてご使用ください。 ●配管後の継手部には、引張り・曲げ・回転などの過大な荷重がかからないよう配管支持を確実におこなってください。
禁止	●保管する際は十分直射日光を避け、ほこりが多い場所や振動が激しい場所には保管しないでください。
注意	●本製品では管の熱収縮は吸収できません。管の熱収縮が想定される場合は、別途伸縮継手等を配置してください。 ●腐食しやすい環境で使用する場合は、状況に応じて防食処理や定期的な確認をおこなってください。 ●正しく施工されていなかった等で施工のやり直しをする際は、必ず手で回せるぐらいまでボルトを緩めてください。無理に回転させたり、グリップリングが食い込んだまま取り外そうとすると、管や製品にダメージを与えてしまう場合があります。

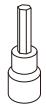
施工に必要な工具



ヤスリ

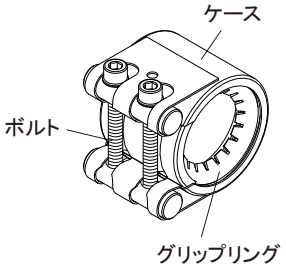


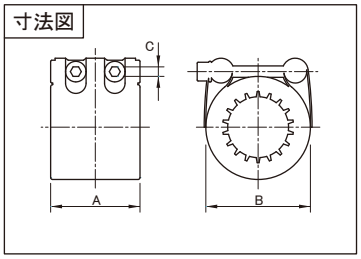
トルクレンチ



六角ソケット

各部名称・製品仕様





製品仕様

使用流体	水、温水、空気	
使用圧力	水、温水	鋼管：1.6MPa、ステンレス鋼管：1.0MPa、塩ビ管：0.75MPa(40℃以下)
	空　気	鋼管、ステンレス鋼管：1.0MPa、塩ビ管：0.75MPa
	熱水(80℃以上)	鋼管、ステンレス鋼管：1.0MPa
負圧性能	−0.096MPa(720mmHg)	
流体温度	−30～90℃(蒸気は使用できません)	
可とう角	片側±2°（両側4°）	

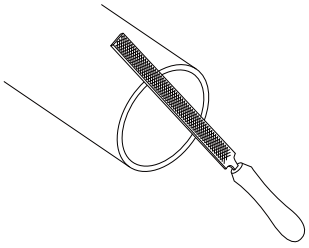
品番	A (mm)	B (mm)	六角穴C (mm)	標準トルク (N・m)	取付可能範囲 (mm)	適応管種呼 (*1) 鋼管	SUS管	塩ビ管
649-855-20	45	46	5	7	26～29	20	25	−
649-855-25	45	54	5	7	33～36	25	30	−
649-855-32	60	66	6	10	39～43	32	40	−
649-855-40	60	74	6	10	47.5～52.5	40	50	40
649-855-50	75	85	6	15	58～64	50	60	50
649-855-65	95	108	8	25	72～80	65	75	65
649-855-80	95	124	8	30	88～95	80	80	75
649-855-100	95	158	8	45	112～120	100	100	100
649-855-125	110	186	10	65	137～145	125	125	125
649-855-150	110	212	10	65	164～172	150	150	150

(*1)適応管種

鋼　管	JIS G 3452…配管用炭素鋼鋼管 JIS G 3454…圧力配管用炭素鋼鋼管 JIS G 3459…配管用ステンレス鋼鋼管 JWWA K 116…水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(SGP-VA、VB管) JWWA K 132…水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管(SGP-PA、PB管)
SUS管	JIS G 3448…一般配管用ステンレス鋼鋼管 JWWA G 115…水道用ステンレス鋼鋼管
塩ビ管	JIS K 6741…硬質ポリ塩化ビニル管(VP管) JIS K 6742…水道用硬質ポリ塩化ビニル管(VP、HIVP管)

取付方法

1. 接続するパイプの端面にあるバリや汚れを取り除きます。

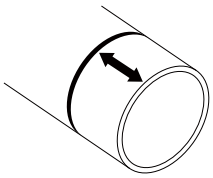


必ず実行	パイプの切断面が斜めであったり段差がある場合はやすり等で直角にしてください。またパイプに傷や変形がある場合は、パイプを切断し直してください。

2. パイプに挿入する寸法をマーキングします。

下の表に示した寸法をパイプの端面から計測しマーキングします。

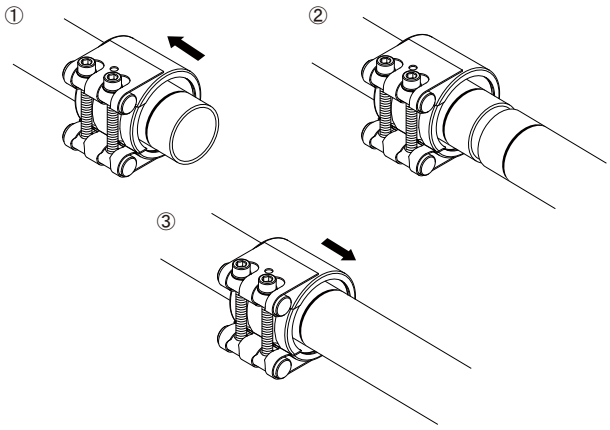
呼	マーキング寸法(mm)
20、25	22
32、40	30
50	37
65、80、100	47
125、150	55



注意	差込が不十分ですと漏れや抜けの原因となります。

3. カップリングを配置します。

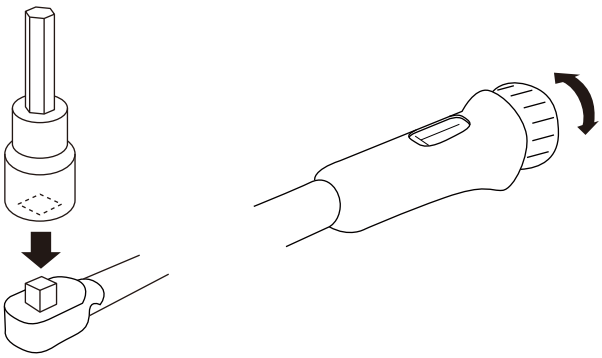
①カップリングを片側のパイプに差込みます。 ②もう片側のパイプを配置します。 ③マークした位置までカップリングを横移動させます。



注意	●カップリングを差込む際に、グリップリングの刃でパイプの表面を傷つけないようにしてください。漏水する恐れがあります。

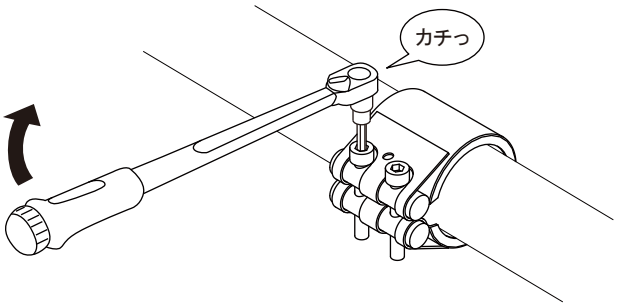
4. ボルトを締付けます。

①トルクレンチにそれぞれのボルトのサイズに合った六角ソケットを取付けます。 ②カップリングのラベルに表示されている『締付トルク』に合わせます。



取付方法

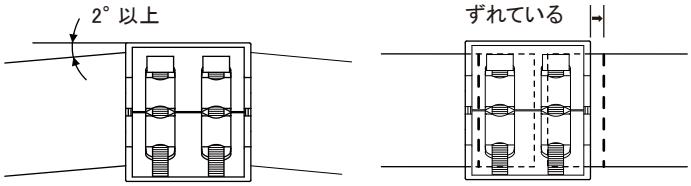
③パイプのマーキング位置がカップリングの端部と合っていることを確認し、トルクレンチにて締付けます。
＊片締めにならないように、3回転程度を目安にして交互に締付けてください。



必ず実行	締付けの最後には、両側のボルトを交互に数回締付け、2本のボルトが均等に設定したトルクで締付けられているかを確認してください。

取付後の確認

接続した管とカップリングの角度が可とう角(2°)以上の場合、もしくはマーキングした位置からずれている場合は、施工をやり直してください。



再使用する場合

⚠警告

必ず実行	●再使用は2ヶ月以内の使用に限り、10回まで可能です。使用期間と使用回数は必ず守ってください。 ●本品を取り外す際は、配管内に溜まった圧力を逃がしてからボルトを緩めてください。
禁止	●使用流体が異なる場合には再使用しないでください。

⚠注意

必ず実行	●取り外した製品は、内部の汚れを取り除き、ビニール袋等に入れ、直射日光が当たる場所は避けて保管してください。 ●再使用する際は、ボルトにグリスを適量塗布してしてからご使用ください。
注意	●製品を取り外した際に、配管内の溜まった残留水の飛び散りにご注意ください。

●水と住まいの接点
株式会社カクダイ
本社　〒550-0012　大阪市西区立売堀1－4－4　☎(06)6538-1124

0515**
M-E9803

無断転載・複写を禁ず